

コントロールデバイス その① フライトシミュレータの楽しみ方

今回はコントロールデバイスをご紹介します。

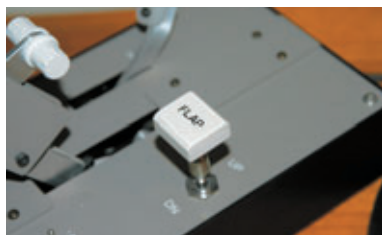
コントロールデバイスといえば、まず思い浮かぶのはジョイスティックですが、ジョイスティックは汎用品が主で、飛行機のフライトとしては少々リアル感に欠けるということがいわれます。そこで、今回はフライトシミュレータ専用で製作されたコントロールデバイス、「スロットル TM-1」(写真4)をご紹介します。



このスロットル「TM-1」はフライトシミュレータ専門ショップ「ファイナルアプローチ」で販売されている「ファイナルテック」製品の1つです。スロットルのコントロールに特化した設計で、コンパクトにまとめられた筐体に、スロットルレバー、フラップレバー、スポイラーレバー、各種スイッチが装備されています。ジョイスティックの側に置いて使用するのにちょうど良い大きさで、接続もUSBを使用し簡単です。設定には付属のCD-Rに記載された方法を用いますが、書かれている内容どおりに操作するだけで、簡単に設定が行われるようになっていきます。また、他のジョイスティックとの併用も可能で、操縦はジョイスティック、スロットル操作はTM-1という感じで使用します。(写真1)

このTM-1のすばらしい点は、そのデザインと操作性にあります。デザインはボーイング旅客機をイメージして作られているのではないですか？

基盤の色が2種類あり、グレーとブラウンです(グレーはB737、ブラウンはB767のイメージでしょうか)。まさに憧れのcockpitカラーとも言える色使いです。シングルスロットルながらスロットルレバーには2つのホワイトノブが付けられ、実機のスロットルレバーをやや小さくした感のある、こだわりの作り込みがなされており、製作者の思い入れが伝わってきます。さらにスロットルレバーの「重さ」をよりリアルに再現するために、単にスライド



してコントロールする方式ではなく、筐体の内部に複雑なリンク機構を入れ、微細なスロットル操作でもスムーズな可動ができるように工夫されています。この操作感は一度使うと、そのスムーズ感に感動を覚えるほどです。スロットルレバーには着陸時使用する逆噴射用のレバーも備え付けられており、使用時には実機と同様にレバーを引き上げ、逆噴射を掛けるという機構になっています。

また、付属するフラップレバー、スポイラーレバー(写真2、3)にも製作者のこだわりが感じられる



デザインと操作性が盛り込まれており、写真でもわかるようにそれらのスイッチに関して、実機のイメージを大切に製作されています。

残念ながら、このTM-1スロットルはすでに販売が終了し、次回作はいまのところ未定です。これは1つ1つの製品がすべて手作りで製作され、こだわりの感じさせるノブやスイッチ、複雑な機構は、厳選された物かこの製品のために製作された「一品もの」であるためです。大量生産ではなく、フライトシミュレータファンがおなじ趣味を持つ人のために製作したものだからです。

フライトシミュレータファンには誰しもが持つcockpitへの憧れがあるのではないのでしょうか？現実的には訓練用の本格的なフライトシミュレータを自宅に置くというのは場所や費用の面から考えても無理があるのですが、「少しでもそれに近づけたら」と思っているファンは少なくないと思います。今回ご紹介した「ファイナルテック」の製品は、そんなフライトシミュレータファンの夢を少しでもかえてくれるものであると思います。

興味がある方は販売店の「ファイナルアプローチ」へ次回作の計画を問い合わせるみてはいかがでしょうか？ またさらに本格的なものが欲しい方にはTHR-V ベーター版 For FS2004 というツインスロットルがあるので、こちらも在庫を確認されてはいかがでしょうか。詳細は「ファイナルアプローチ」のホームページをご覧ください。
ファイナルアプローチ <http://www.final-approach.co.jp/>

今回は同じく憧れのコントロールデバイス、「グレアシールド操作盤 (AP-5S)」をご紹介します。